保守業務改革プログラムMIND−VIPⅡのお勧め

2013 年 5 月　システム企画研修株式会社

背景：
弊社は、ここ数年、お客様が保守業務の改善･改革を実施されるお手伝いを主力事業としております。

研究会･研修

その一環で研究会（各年度単位のＳＬＣＭ研究会）や研修（年２回開催、半年以上かける Sweeper 養成講座）等を実施しております。

MIND−VIP

かたや過去に MIND−ＶＩＰという業務改革推進プログラムを大手企業十数社で実施させていただき、半年で数千万円から数億円の経済効果を実現しております。

厚生労働省の研修奨励金制度

そういう中で、今年度から厚生労働省の研修奨励金制度が変更になり、情報サービス業であれば、対象者不問で実施した研修に対して、１人２０万円、１事業所５００万円までの補助金が支給されることになりました。

そこでこの３者を結びつけまして、以下のような新しいプログラムを開発いたしました。実施のご検討をいただければ幸甚でございます。

1. ＭＩＮＤ−ＶＩＰⅡ実施の目的・ねらい（Why）

（１）目的

- 対象部門の責任者が、自らの判断・自己責任で、半年間で対象組織のソフトウェア保守業務の改善・改革を実施し、以下のいずれかまたはそれぞれの成果を実現していただきます。
  - １）ソフトウェア保守業務の「早い」の実現
    - 保守依頼から移行完了までの期間短縮
  - ２）ソフトウェア保守業務の「うまい」の実現
    - 障害削減、利用者満足度の向上
  - ３）ソフトウェア保守業務の「安い」の実現
    - 保守案件の受付から、検討、作業実施､移行までの各種作業の投入工数削減・費用削減

（２）ねらい

- １）大きな経済効果または定量効果の実現
  - 経済効果の例＝コスト削減。定量効果の例＝保守見積り期間の短縮
- ２）改善を率いるリーダ（部長またはグループリーダ）のリーダシップの強化
  - 「命令・指示者」から「一緒に改善に取り組む仲間」になることで、信頼されるリーダになっていただきます。
- ３）改善を実施するチームの連帯感の強化、モチベーションの向上
  - 半年の共同作業の結果「隣は何をする人ぞ」から「頼れる仲間」になる。
  - 保守業務が「イヤな仕事」から「楽しい業務」になる。
- ４）お客様からの信頼感の向上
  - 頼れるパートナとしての評価が高まります。
- ５）対象組織のソフトウェア業務改善能力が飛躍的に高まります。

保守業務改革プログラムMIND-VIPⅡのお勧め

2. MIND-VIPⅡの実施内容と実施方法（What、How）

１）対象組織の長が旗振りをします。
- 対象組織の長とは、社長・事業部長・本部長等、ＭＩＮＤ－ＶＩＰⅡを実施する対象組織のトップです。

２）対象組織に所属する部長またはグループリーダが改善・改革推進の中核者(責任者)をします。

３）中核者に対して、弊社が改善・改革手法のガイドを行います。
- ガイドは分析手法と解決策のヒントです。

４）中核者は、担当組織に持ち帰って改善テーマを決定し、そのテーマに合った改善推進者を選定しチームを編成します。
- 選定するテーマは、以下の条件で選定します。
  - a. 自分の守備範囲の業務の中で自己完結すること。
  - b. 半年で定量的な改善成果が実現すること
  - c. チームメンバが協力して改善に取り組めること。

５）中核者は、習ったガイドをチームメンバに教えながら、ガイドに従い改善を進めます。

６）１か月目に中核者が集合し、改善計画を発表します。
- 他のメンバは自分の改善の参考にします。

７）３カ月目で中核者が集合し、改善実施状況の中間報告をします。

８）６か月目に中核者が集合し、改善成果の報告を実施します。
- 改善成果を評価して、優秀者を組織の長が表彰します。

3. MIND-VIPⅡ実施の対象範囲（Where）

（１）対象業務
- アプリケーション・ソフトウェアの保守業務
- 問い合わせ対応を含みます。

（２）対象部門・対象者

１）対象部門
- この推進を行う対象組織の長（１人）が率いるライン部門
- スタッフ部門は自力のみでは経営的効果が実現できませんので対象外です。

２）対象者
- 対象部門に所属する部長・グループリーダおよびその部下
- １チームは原則として５～６人以内

4. MIND-VIPⅡ実施の実施時期・期間（When）

- 以下の日程で進めます。

開始から終了まで6カ月

初期研修（1日）	改善に使用する手法と改善策のガイドを行う。
改善計画立案（1カ月）	リーダが中心になって改善計画を立案する。
改善計画発表会（1日）	推進者および上司陪席の下に、改善計画の発表を行い実施の承認を受ける。
改善実施（2カ月）	リーダが中心になって改善を進める。
中間報告会（1日）	推進者および上司陪席の下に、改善の進捗報告を行う。
改善実施（継続）（3カ月）	引き続きリーダが中心になって改善を進める。
最終報告会（1日）	推進者および上司陪席の下に、改善成果の報告を行う。 改善成果を評価し、優秀チームの表彰を行う。

5. MIND-VIPⅡの実施体制（Who）

- 次頁をご参照ください。

6. MIND-VIPⅡの実施料金（How　Much）

- 弊社がいただく通常の指導料金は一括請負型で５００万円(消費税別)です。
- 厚生労働省の「正規雇用労働者育成支援奨励金」を利用いただくと、御社の負担は社内発生費用のみとなります。

7. ご参考：御社の作業負担

- 過去のＭＩＮＤ－ＶＩＰの実施事例では、１チーム平均７人で延２００人時～４００人時（１人当たり半年で３０～６０時間）となっております。

5. MIND-VIPⅡの実施体制（Who）

（1）御社側の体制と役割	推進者	対象組織の長 （社長、事業部長、本部長）	• このプログラム実施の意思決定を行い、必要な検討会（前項４．記載）に出席し、改善をプロモートする（ハッパをかけていただく）。
	中核者	対象組織で直属の部下を持っている部長またはグループリーダ	• その担当組織内で、自分が中心になって、部下と協働して改善を実施する。
	検討メンバ	中核者の部下	• 中核者の指名により選任され、中核者と協働して自部門の業務を改善する。
	事務局	対象組織のスタッフ	• 推進者の命を受けて中核者を選定する。 • 集合検討会の準備・運営を行う。 • 弊社との連絡窓口をしていただく、等。 （詳細は実施マニュアルがあります）
（2）弊社側の体制と役割	主講師	• 初期研修で、改善の実施方法のガイド、改善手法の紹介・ガイドを行います。 • 検討会で、改善を成功させるためのコメント・アドバイスを実施します。 • 対象チームが何をどうするかは自己責任で実施していただき、弊社は要求されればアドバイスをするスタンスです。	
	副講師	• 主講師の補助で、改善計画内容、中間報告・最終報告内容に関して直接アドバイスいたします。	
	アシスタント	• 教材の準備・提供 • 検討会の運営補助	

お問い合わせ　システム企画研修㈱

電話：03-5695-3130
mind-pc@newspt.co.jp
http://www.newspt.co.jp
http://www.newspt.co.jp/data/kensyu/syoureikin.pdf